

# 舞踊作品の鑑賞に関する研究 —アイカメラによる視線計測と質問紙調査—

大阪女学院大学 原田純子, 同志社大学 阪田真己子  
武庫川女子大学 徳家雅子, 東京情報大学 内田 治

## 1. はじめに

舞踊創作活動における作品鑑賞(鑑賞学習)は、自己とは異なる個性との出会いであり、それによりさらに自己の創造活動を活性化させることのできる有意義な体験である。松本(1980a)は、すぐれた舞踊作品を鑑賞することは「技術上の巧みさへの開眼とともに、作品を通して受けた感動は、人々の内に深くひびいて、人生に、永続的な価値を求める感情を高める契機となる」と述べ、鑑賞は創作と同等に重要な体験であるとしている。それでは、舞踊作品を鑑賞する際に、鑑賞者は踊り手のどこをどのように観て、作品(踊り手)に接近しているのだろうか。

本研究では、アイカメラを用いた視線計測を行うことで、鑑賞体験における「見る」行為を客観的に捉えると同時に、作品に対する質問紙調査を行うことで、鑑賞者が作品の何に注目し、作品をどのように受け止めているかということをも明らかにすることを目的とする。

## 2. 方法

### 2.1 対象作品と被験者

鑑賞対象とした作品は、猪崎弥生振付、石川雅実演「枇杷色の風」(第20回あきた全国舞踊祭モダンダンスコンクール2位受賞/2001年)である。被験者は全て女性で、①未経験者3名(大学生)②経験者(大学ダンス部学生)6名③指導者5名の計14名である。

### 2.2 手続

視線の計測は、アイマークレコーダEMR-8b(ナック社製)により行った。被験者には眼球運動(左眼)を抽出するためのヘッドユニットを装着した状態で対象作品を被験者前方の大型スクリーンに呈示した。ヘッドユニットは、被験者が見ているシーンを視野カメラによって撮影すると同時に、被験者が見ている場所をアイマークとして検出する。

被験者には予めヘッドユニットを装着した状態で、1回目を見終わった時点でこの作品に相応しいタイトルを答えてもらう旨を指示した。1回目の呈示後、口頭での回答を得てから作舞者によるタイトル「枇杷色の風」を告げた。その後2回連続して作品を呈示後、ヘッドユニットをはずし当作品に関するアンケート(松本(1980b)の先行研究を参考に筆者らが独自に作成したもの)への記入を求めた。

## 3. 結果と考察

アイカメラによる視線計測の結果、動的な動きに対しては顔および胴体(上半身)を追従する傾向がみられた。これは演者の身体全体を把握しようとする結果であると考えられる。さらに個別の被験者について見ていくと、細かな動きまで全て注目し視線移動が大きい者(図1-1)や、逆に個々の動きにはあまり捉われず視線の移動が小さ

い者(図1-2)、また全般的に細かな動きには注目しないが、特徴的な動きに対しては一瞥する者などのパターンに分かれた。なお、図1-1は初心者、図1-2は指導者の視線停留軌跡である。

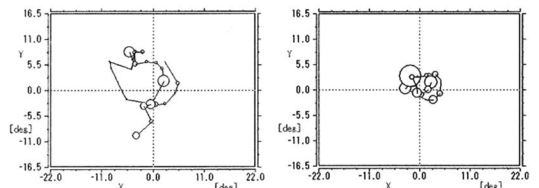


図1-1\*個々の動きへの注目 図1-2\*身体全体の把握

一方、静的なポーズに対しては、手や足先、頭部など身体先端部分への注目(図2-1)や、図2-2のように腕を舞台上手へ伸ばす動作に対して、手が指し示す方向の空間への注目が見られた。

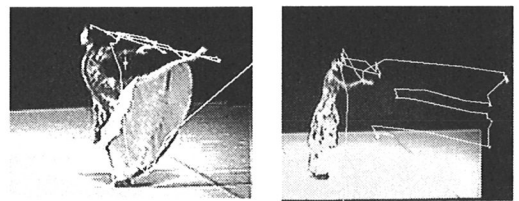


図2-1 身体部位への注目 図2-2 空間への注目

また、計測されたこれらの視線特徴は質問紙調査の結果において裏付けられるものであった。例えば、視線分析において個々の動きへの注目が見られた者は、質問紙においても「手足の動きに注目していた」などの回答を、また視線変化があまりない者については、「テーマを考えながら鑑賞した」などの回答をしていた。

## 4. まとめと課題

本研究は、ダンス学習に鑑賞を取り入れる際に、その目的に応じた成果をより有効に導く手がかりを探るための基礎研究である。実験結果は、個々の被験者が主観的な観点に基づいて作品を見ていることを示すものであった。このことは、鑑賞の際に必要なに応じて言葉掛けを工夫することで、舞踊を見る目が養われ、作品やダンスにより近づける可能性があることを示唆している。本稿では限られた被験者の計測結果を定性的に把握したに過ぎないが、今後はさらに事例を増やすことで、鑑賞の仕方と舞踊作品への接近の傾向を捉えたいと考えている。

## 参考文献

- [1] 松本千代栄編著：ダンス・表現学習指導全書、大修館書店、p.99,1980
- [2] 松本千代栄：舞踊用語に関する研究Ⅲ—批評・紹介記事の意味微分、第10回舞踊学会発表資料、1980

\*図1-1, 1-2は作品中の特定部分における視線の停留点の軌跡を示している。この図で、停留点は停留持続時間に応じた大きさの円図形で示され(注視時間が長いと円が大きくなる)、停留点から停留点への移動は直線で結ばれている。